Monthly Times

令和6年度 12月号

Your own value your own way～それぞれの価値それぞれの道～

和歌山県立紀央館高校

冬休み前アセンブリー

今年一年を振り返りますと、能登半島や宮崎県日向灘で地震が発生し、９月には、能登半島北部で豪雨の発生により再び大きな被害を受けました。また、和歌山県で３２日間連続で熱中症アラートが発表されるなど厳しい暑さが続きました。私たち人間は自然のもたらす災害や異常気象の前では本当に無力です。しかし、無力だからこそ、出来ること、やらなければならないことを「やり切る」ということが大変重要になってきます。

年が明けますと、４月１３日から大阪・関西万博が半年間の予定で開催されます。「いのち輝く未来社会のデザイン」がテーマで、人間一人一人が、自ら望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できるようにするとともに、こうした生き方を支える持続可能な社会を、国際社会が共創していくことを推し進めるといったコンセプトで、２０年ぶりに日本で開催されることとなりました。万博では、これまで新しい技術や商品が生まれ、生活が便利になる「きっかけ」になってきました。また、単行本が刊行されてから今年で５０年目となる国民的アニメ「ドラえもん」では、誕生当時から実現できそうもない「未来の道具」がたくさん登場してきました。しかし、そのいくつかは実現され、日常で当たり前のように使われています。アニメの世界の事が現実となるなど、科学技術はものすごいスピードで進展（進歩）しており、今後、どのような世界が広がっていくのか本当に楽しみでなりません。

３年次生の皆さん、これから未来に向けたチャレンジが始まろうとしています。誰かの頑張っている姿に「自分も頑張ろう」と思える、あるいは自分の頑張っている姿を見て誰かが「私も頑張ろう」と思ってくれる。そんな雰囲気が大切になります。皆さんは、自分の夢を実現できる力・能力を持っています。「想像できて実現できると思ったことは形にできる」ということを信じてください。それから１、２年次生の皆さん、新年に向けて明日からの冬休み、これまでの総復習に取り組んでください。そして、理解が不十分なところを十分に補ってください。出来ないことに気を取られず、出来ることから確実にやりましょう。
将来の目標達成に向け、努力し続けてほしいと思います。

最後になりますが、明日からの冬休み期間が皆さんにとって充実した日々となり、新年のアセンブリーで新たな決意を示した皆さんに会えることを楽しみにしています。

エンジン贈呈式

和歌山ダイハツ様より軽自動車エンジンをご寄付いただき、12月10日に贈呈式が行われました。式では、ご出席くださった和歌山ダイハツ取締役社長が、和歌山県の自動車事情豆知識をご披露くださり、参加した生徒は興味津々でした。今後、寄付していただいたエンジンは工業技術科の実習に活用されます。和歌山ダイハツ様、ありがとうございます。

ＣＬ発表会

今年は、クラス内で発表したのち、普通科からは各クラス２名ずつ、工業科は１名ずつ選出され、学年全体での発表会が行われました。地域の環境や行事について、３年次では進路についての内容もあり、各学年とても見応えのある発表会となりました。ＣＬを通じて様々な分野への学びを深めるきっかけになればと思います。